

## サマースクール「生きもの調査隊・たも採集編」が開催されました!

「生きもの調査隊・たも採集編」は、今年で8年目を迎えました。この講座では、碧南市内の用水路へ行き、タモ網を使って生きものを採集し、どんな生きものが生息しているか調査しています。

調査当日は強い日差しの中での調査であったため、隊員の体力が心配されましたが、一人の脱落者もなく調査することができました。午後は科学館にもどり、調査結果をまとめました。

その調査の結果を、当日の様子とともに紹介します。



調査隊メンバー

# 生きもの調査隊・たも採集編

調査日時：2010年7月23日(金) 9:00~12:00



INFORMATION & NEWS

調査地点①

調査日時：7月23日（金）

9:40～10:10

調査場所：碧南市長田町（西端小学校区）

天気：晴れ

用水路の幅：80cm 深さ：49cm

水温：29.0℃



メダカ

1ヶ所目は、油ヶ淵（長田川）と用水路をつなぐ水門近くを調査しました。ここでは、8種類の生きものを採集することができました。最初は、上手く生きものを捕まえることのできなかつた隊員たちも、2人で挟み撃ち（はさう）にすれば上手く捕まえることができることを知り、多くの生きものを採集していました。

この場所では、近年、絶滅が心配されているメダカが多く見られました。碧南市にはメダカが住める環境がまだ残っているようです。



INFORMATION & NEWS

調査地点②

調査日時：7月23日（金）

10:45～11:15

調査場所：碧南市長田町（西端小学校区）

天気：晴れ

用水路の幅：20cm 深さ：110cm

水温：29.3℃



カダヤシ

2ヶ所目は、調査地点①の水門から少し離れた用水路を調査しました。調査地点①より少ない7種類の生きものを採集することができました。

この場所では、調査地点①と同様にメダカを採集することができましたが、メダカに似た特定外来生物のカダヤシも確認されました。カダヤシ（蚊絶やし）は、蚊の幼虫のボウフラを退治する目的で日本各地に放流されました。現在日本では、在来種のメダカが減っている一方で、外来種のカダヤシが増えています。



午後からは、メダカとカダヤシの違いについて調べたり、オリジナル生きもの図鑑を作りました。

メダカとカダヤシについてまとめたものは、水族館の特別展会場（2010年7月17日～11月14日）に掲示してあります！



## 採集した生きもの一覧表

	生きもの名前	調査場所①	調査場所②
1	メダカ	◎	◎
2	カダヤシ		○
3	ギンブナ	○	
4	タイリクバラタナゴ	○	
5	ミシシッピーアカミミガメ	○	○
6	スクミリングガイ	○	○
7	ヌマガエル	◎	○
8	アメンボ	◎	◎
9	ガムシ	○	○
採集できた生きものの種数		8	7
外来生物率(%)		25.0	28.6

○:採集できた生きもの、◎:数の多かった生きもの

赤字:外来生物

外来生物率:調査中に発見できた種数に占める外来生物の割合

今年の調査では、調査地点①、②合わせて9種類の生きものを採集することができました。昨年も調査地点①と同じ場所で調査を行ったのですが、そのときは13種類の生きものを確認しました。採集できる生きものの種類数は、用水路の水量によっても変わってきます。今年は水量が少なかったため、種類も少なかったのかもしれませんが。

今回採集された外来生物は、過去にも確認されている種類で、新しく見つかったものはありませんでした。



タイリクバラタナゴ



スクミリングガイ



ミシシッピーアカミミガメ